

ワシントンハイツ

佐々木隆

プロローグ

戦後の日本における欧米文化の流入では米軍の駐在、その後駐在米軍の住居として日本各地にこうした外国人居留地が誕生している。横浜の居留地では戦後かぼちや祭りが開催されたが、これが実は日本におけるハロウィーンの受容の先駆的な役割を果たした(一)。ハロウィーンと言えば一九八三年に本格的なパレードが開催されたのが原宿キデイルンド主催のハローハローハロウィンパレードであった。キデイルンドがハロウィーンに関心を持つようになった契機はワシントンハイツの住民との交流にあった(二)。本稿ではこのワシントンハイツについて取り上げる。

一 ワシントンハイツ

ワシントンハイツ (Washington Heights; U.S.

Air Force Washington Heights housing complex)

は、敢えて日本語表記すれば合衆国空軍ワシントンハイツ団地ともなるうか。第二次世界大戦敗戦後の日本にお日本を占領していた連合国軍の一部であるアメリカ軍が東京・代々木に有していた軍用地である。そこには兵舎・家族用居住宿舍などがあった。一九四六年に建設され、東京オリンピックが開催された一九六四年に日本に返還された。移転費用はすべて日本が負担した。跡地は現在の代々木公園、国立代々木競技場、国立オリンピック記念青少年総合センター、NHK放送センターなどがある。

一九五三年一月の記事としてワシントンハイツにはアメリカ人三千人の住んでいたという(三)記事の中で日本に来て半年ばかりの一将校夫人のイン